

大日本ダイヤコンサルタントは、エネルギーインフラの地質調査、物理探査技術による海底下の地質構造評価や資源調査に実績のあるダイヤコンサルタントと、橋梁設計のトッププランナーとして橋梁設計・耐震設計に実績があり、再生可能エネルギーの社会的課題の解決に取り組んでいる大日本コンサルタントが合併し、2023年7月に新しい会社名でスタートした。洋上風力発電事業において、風車設置エリアの地質リスクを考慮した地盤構造・物性の把握から、風車基礎構造の設計、風車本体の構造の合理化まで、多様なニーズに答えている。

海底地盤調査においては、既往調査データの収集・分析、海底地形調査、2次元・3次元音波探査、海上ボーリング調査、およびこれらに基づく海底地盤モデルの構築と地質リスク評価を行うワンストップサービス体制を、地球科学総合研究所、海洋エンジニアリングとの連携により構築している。

連携会社のうち地球科学総合研究所は、支持層や工学的基盤などの地盤構造の概要把握に最

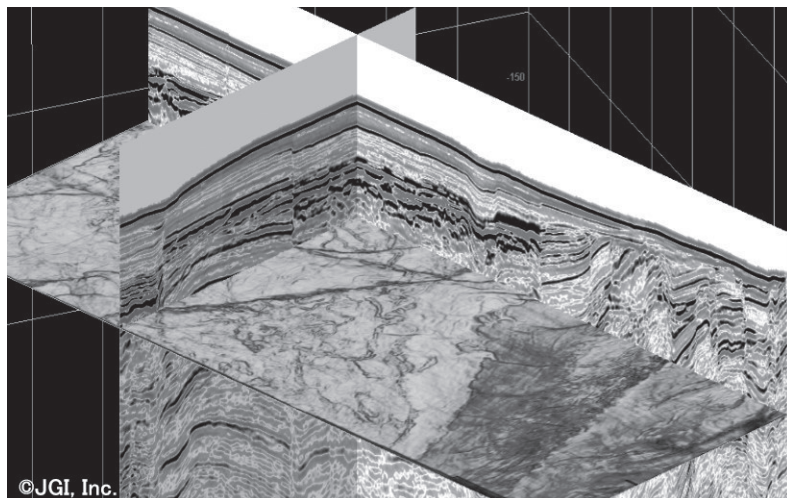
実績豊富な2社が融合し多様なニーズに対応

適な超高分解能2次元音波探査(UHR2D)を得意としており、複数震源を同時に用いた極浅部から深部までの地盤情報を効率的に取得する技術を実用化している。また、シャローガスや旧河川などの面的把握が必要な地質リスク(ジオハザード)評価に対応可能な超高分解能3次元音波探査(HR3D)の実績を多数有しており、3次元音波探査データの解釈や特殊解析にも精通している。

洋上風力発電施設の基礎構造設計においては、モノパイル式に加え風車の大型化に伴うコスト低減を狙った杭基礎一体型鋼管集成式合理化構造の開発を進めている。橋梁基礎の設計技術を応用するこ

とで、国内のレベル2地震や暴風・波浪の作用を考慮した設計手法も含めて早期実現を目指している。

ともに1963年に創業し、60年以上の実績と高度な技術サービスを持つダイヤコンサルタントと大日本コンサルタントが融合し、調査、解析、設計の広い分野で技術を提供する。



高分解能3次元音波探査データの例
(資料提供：地球科学総合研究所)